

答志での島暮らし～コレマデとコレカラ～

地域おこし協力隊として平成29年4月から活動をしていただいた五十嵐ちひろさんが、3月末をもって3年間の任期を満了したことから、これまでの取り組みや島での暮らし、今後の活動について紹介します。

企画財政課企画経営室 ☎ 251101



五十嵐 ちひろ さん
CHIHIRO IGARASHI

- ・埼玉県春日部市出身
- ・イタリアの語学学校卒業
- ・伝統工芸青山スクエア(東京)勤務
- ・平成29年4月より地域おこし協力隊として答志島へ移住
- ・令和2年3月末をもって地域おこし協力隊を卒業

島での暮らしで変わったこと

①夜寝るのが早くなりました。
埼玉から東京へ通勤していたころは、どんなに早くても帰りは午後9時を過ぎていたので、就寝は午前0時を過ぎるのが当たり前でした。和具地区はみんな午後5時ごろに夕食を食べているので、自然と早くご飯を食べて日付が変わる前には寝るのが当たり前になりました。

②答志の方言が分かるようになりました。

最初は言葉を聞き取るだけでも一苦労で、一日中脳を使っているのに、夜になると信じられないくらい眠くなったものです。これは留学したばかりのころの体験と全く同じなので、答志弁はわたしにとって外国語と同じくらい理解が困難な言語だったと言えます。

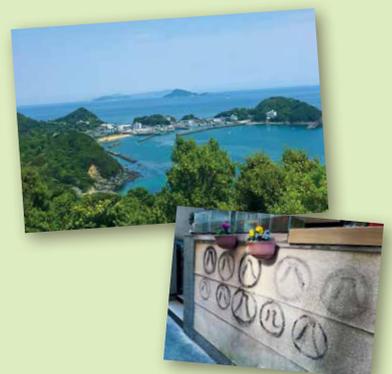
今では、答志弁がだんだんうつつてきました。県外の人と会うときや、実家に帰ったときなどは切り替えているつもりでしたのですが、東京のイベントで「西のイントネーションですね」と言われたこともありました。

③人に頼むのが上手になりました。

島では、みんな助け合って暮らしています。物の貸し借りは当たり前ですし、ゴミ捨てに行く人が歩いていたら、バイクや車の人が代わりに持って行きます。最初のうちは「頼むなんて悪いなあ」と思っていました。が、こういふときはこの人に聞こう、これはあの人に言えばやってくれるはず、と考えるようになりました。まだまだ未熟なわたしですが、いつか島のみならずいろいろな頼まれるようになりたいです。

④2人での島暮らし

こちらに来てから出会ったかたと結婚して、1人で始めた島暮らしが2人での暮らしに変わったので、移住で大きく人生が変わったなと感じます。



地域おこし協力隊としてのこれまでの主な活動

島女子会

移住や交流人口の増加を目的に、島に住む女性たちと一緒に、「島女子会 in 答志島」を企画しました。都市部に住み答志島に興味を持っている女性と島の女性との交流をメインとした移住体験ツアーを3回行い、とても好評でした。また、島の女性たちと大阪へ出向いて、島の紹介をしたり、参加者のみなさんの質問に答えたりする「出張! 島女子会 in 大阪」も開催しました。



答志島ロケーションサービス

商工会議所や旅館のかたがたと一緒に有志によるロケ受け入れ事業を行っています。ロケハンやロケの同伴、撮影に必要なものの手配などを行います。5月に公開を予定している藤原竜也さんと



竹内涼真さんが出演する映画「太陽は動かない」のロケでもお手伝いをしました。

地域行事の担い手、情報発信

各地域で催されるさまざまな行事や祭り、移住者の目から見て興味深い文化や風習などを取材し、ブログに書いて情報発信をしてきました。島内外のかたに楽しんでいただいています。

今年2月の答志地区の神祭では、歌舞伎の舞台に出演させていただきました。



島暮らしのエピソード

最も印象に残っている出来事は、2018年にあった美多羅志神社の御木曳です。準備にも時間がかかるのと、20年に1度のお祭りなので、島のみなさんにとっても貴重な体験。島のみなさんはもちろん、お祭りのために帰省したかたもみんながうれしそうで、とつてもすてきな光景で、今思い出しても胸がいっぱいになります。今年はいよいよ宮建ちなので、それも楽しみです。

地域おこし協力隊卒業後について

引き続き答志島に住んで生活していきます。ブログも続けて、行事に参加したり、まだまだ知らない文化や歴史についても調べたりしながら、これまで行ってきたさまざま



御木曳の様子

ブログ [SU ISOLA]

五十嵐さんのこれまでの活動や答志島の魅力について、ブログで発信しています。ぜひご覧ください。



QRコード



英語塾も開いています

な活動を続けたいです。また、鳥羽のツアー会社で働きながら、個人でも外国人観光客を対象に、島民とのコミュニケーションや家庭料理作りを通して、島の生活が体験できるツアーを行う予定です。島に住み、島で仕事をして、これからは移住者ではなく、普通の島民として暮らしていきたいらうれしいです。